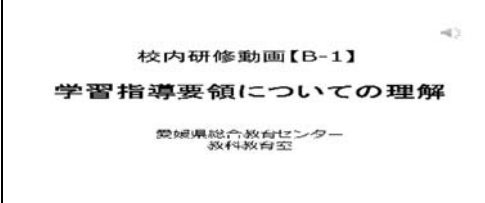



校内研修動画 & 協議・演習 企画書

動画番号 B-1	題名 学習指導要領についての理解		
ねらい	学習指導要領や解説の読み解き方を知り、示された内容を理解する。	所要時間 (40)分	動画 (14)分
			演習 (20)分
準備物	ペン5色 演習用プリント		まとめ (6)分

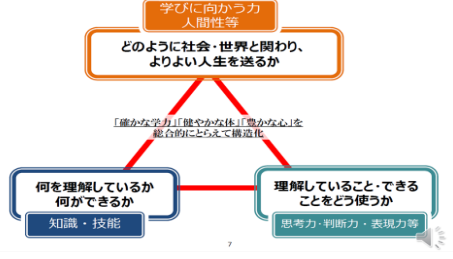
パワーポイント	説明
	
	
<p>校内研修動画【B-1】 学習指導要領についての理解</p> <p>研修のねらい 学習指導要領や解説の読み解き方を知り、示された内容を理解する。</p>	<p>研修動画 B - 1 は、学習指導要領についての理解です。</p> <p>本研修のねらいは、学習指導要領や解説の読み解き方を知り、示された内容を理解することです。</p>
<p>① 改訂の経緯及び基本方針</p> <p>(1) 改訂の経緯</p> <p>今の子供たちやこれから誕生する子供たちが、成人して社会で活躍する頃には、我が国は厳しい挑戦の時代を迎えていると予想される。生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きく、また急速に変化しており、予測が困難な時代となっている。また、急激な少子高齢化が進む中で成熟社会を迎えた我が国においては、一人一人が持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことが期待される。</p> <p>こうした変化の一つとして、人工知能 (AI) の飛躍的な進化を挙げることができる。人工知能が自ら知識を概念的に理解し、思考し始めるとも言われ、雇用の在り方や学校において獲得する知識の意味にも大きな変化をもたらすのではないかと予測も示されている。このことは同時に、人工知能がどれだけ進化し思考できるようになったとしても、その思考の目的を乏したり、目的のよき・正しき・美しさを判断したりできるのは人間の最も大きな強みであるということの再認識につながっている。</p> <p style="color: red; border: 1px solid red; padding: 2px;">いつの時代をイメージしていると思いますか。</p>	<p>こちらは、解説に示された学習指導要領改訂に関する経緯の部分です。●これからの予測困難な時代を生きる子供たちに必要な力を育むことを意識して、学習指導要領が改訂されましたが、この予測困難な時代とは、いつのことをイメージしていると思いますか？</p> <p>2030年、およそ10年後の未来を見据えた指導が私たちに求められています。</p>
<p>① 改訂の経緯及び基本方針</p> <p>(1) 改訂の経緯</p> <p>今の子供たちやこれから誕生する子供たちが、成人して社会で活躍する頃には、我が国は厳しい挑戦の時代を迎えていると予想される。生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きく、また急速に変化しており、予測が困難な時代となっている。また、急激な少子高齢化が進む中で成熟社会を迎えた我が国においては、一人一人が持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことが期待される。</p> <p>こうした変化の一つとして、人工知能 (AI) の飛躍的な進化を挙げることができる。人工知能が自ら知識を概念的に理解し、思考し始めるとも言われ、雇用の在り方や学校において獲得する知識の意味にも大きな変化をもたらすのではないかと予測も示されている。このことは同時に、人工知能がどれだけ進化し思考できるようになったとしても、その思考の目的を乏したり、目的のよき・正しき・美しさを判断したりできるのは人間の最も大きな強みであるということの再認識につながっている。</p>	<p>また、社会の変化として、人口知能 AI の進化が挙げられています。</p>

こうした変化の一つとして、進化した人工知能（AI）が様々な判断を行ったり、身近な物の働きがインターネット経由で最適化されるIoTが広がったりするなど、**Society5.0**とも呼ばれる新たな時代の到来が、社会や生活を大きく変えていくと予測もなされています。また、情報化やグローバル化が進化する社会において、**Society5.0とは？**を増し、変化の先行きを見通すことが一層難しくなってきました。我々を遡る中で、選挙権年齢が引き下げられ、更に平成34（2022）年度からは成年年齢が18歳へと引き下げられることに伴い、高校生にとって政治や社会は一層身近なものとなるとともに、自ら考え、積極的に国家や社会の形成に参画する環境が整いつつある。

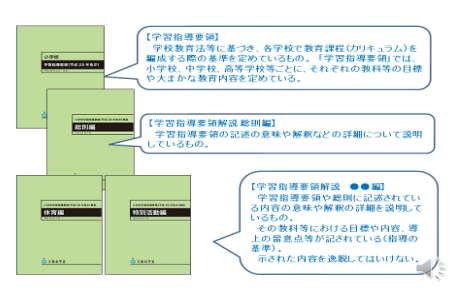
Society5.0
「狩猟社会」「農耕社会」「工業社会」「情報社会」に続く、人類史上5番目の新しい社会
AIが活躍する時代

高等学校の解説になると、IoT や society5.0 まで意識されています。●●
このような未来を生きる子どもたちに必要な力を学校教育で育むために、資質・能力を三つの柱に整理して示すことになりました。

育成を目指す資質・能力の三つの柱



何を理解し、何ができるか、理解していること、できることをどう使うか、どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか
というように資質・能力が整理されました。



どのようにこれらの力を育てていくのかということが示されているものが、学習指導要領や解説です。それぞれどのようなことが示されているのか、改めて確認すると、まず、学校教育法等に基づき、各学校で教育課程（カリキュラム）を編成する際の基準を定めているものが学習指導要領です。

「学習指導要領」では、小学校、中学校、高等学校ごとに、それぞれの教科等の目標や大まかな教育内容を定めています。そして、その学習指導要領の記述の意味や解釈などを詳しく説明しているものが、「学習指導要領解説 総則編」です。最後に、総則に記述されている内容の意味や解釈について詳しく説明しているものが、教科等別の「学習指導要領解説」です。

まず学習指導要領の目次を見てみましょう

● 目次

- 教育基本法 2
- 学校教育法 2
- 学校教育法施行規則 (昭和三十九) 6
- 小学校学習指導要領 16
- 第1章 総 則 17
- 第2章 教育課程 28
- 第3章 教育課程の編成 46
- 第4章 教育課程の編成 64
- 第5章 教育課程の編成 82
- 第6章 教育課程の編成 112
- 第7章 教育課程の編成 127
- 第8章 教育課程の編成 142
- 第9章 教育課程の編成 157
- 第10章 教育課程の編成 172
- 第11章 教育課程の編成 187
- 第12章 教育課程の編成 202
- 第13章 教育課程の編成 217

教科の目標や、どの学年で何を学ぶのが、大まかに記載してあります。
どの学年でどのような学びをするのか、学びに関するつながりを確認するのも役立ちます。

学習指導要領の目次を見ていただくとよく分かりますが、教科の目標やどの学年でどのようなことを学ぶのかということが示されていますので、学習指導要領は、学びのつながりを確認するのも役立ちます。

学習指導要領解説総則編の目次を見てみましょう

● 目次

- 第1章 総 則 1
- 1 教育課程編成の考え方 1
- (1) 教育課程編成の考え方 1
- (2) 教育課程編成の考え方 1
- 2 教育課程編成の考え方 1
- (1) 教育課程編成の考え方について 1
- (2) 教育課程編成の考え方について 1
- (3) 教育課程編成の考え方について 1
- 3 教育課程編成の考え方について 1
- (1) 教育課程編成の考え方について 1
- (2) 教育課程編成の考え方について 1
- (3) 教育課程編成の考え方について 1
- 4 教育課程編成の考え方について 1
- (1) 教育課程編成の考え方について 1
- (2) 教育課程編成の考え方について 1
- (3) 教育課程編成の考え方について 1
- 5 教育課程編成の考え方について 1
- (1) 教育課程編成の考え方について 1
- (2) 教育課程編成の考え方について 1
- (3) 教育課程編成の考え方について 1
- 6 教育課程編成の考え方について 1
- (1) 教育課程編成の考え方について 1
- (2) 教育課程編成の考え方について 1
- (3) 教育課程編成の考え方について 1
- 7 教育課程編成の考え方について 1
- (1) 教育課程編成の考え方について 1
- (2) 教育課程編成の考え方について 1
- (3) 教育課程編成の考え方について 1
- 8 教育課程編成の考え方について 1
- (1) 教育課程編成の考え方について 1
- (2) 教育課程編成の考え方について 1
- (3) 教育課程編成の考え方について 1
- 9 教育課程編成の考え方について 1
- (1) 教育課程編成の考え方について 1
- (2) 教育課程編成の考え方について 1
- (3) 教育課程編成の考え方について 1
- 10 教育課程編成の考え方について 1
- (1) 教育課程編成の考え方について 1
- (2) 教育課程編成の考え方について 1
- (3) 教育課程編成の考え方について 1
- 11 教育課程編成の考え方について 1
- (1) 教育課程編成の考え方について 1
- (2) 教育課程編成の考え方について 1
- (3) 教育課程編成の考え方について 1
- 12 教育課程編成の考え方について 1
- (1) 教育課程編成の考え方について 1
- (2) 教育課程編成の考え方について 1
- (3) 教育課程編成の考え方について 1
- 13 教育課程編成の考え方について 1
- (1) 教育課程編成の考え方について 1
- (2) 教育課程編成の考え方について 1
- (3) 教育課程編成の考え方について 1
- 14 教育課程編成の考え方について 1
- (1) 教育課程編成の考え方について 1
- (2) 教育課程編成の考え方について 1
- (3) 教育課程編成の考え方について 1
- 15 教育課程編成の考え方について 1
- (1) 教育課程編成の考え方について 1
- (2) 教育課程編成の考え方について 1
- (3) 教育課程編成の考え方について 1
- 16 教育課程編成の考え方について 1
- (1) 教育課程編成の考え方について 1
- (2) 教育課程編成の考え方について 1
- (3) 教育課程編成の考え方について 1
- 17 教育課程編成の考え方について 1
- (1) 教育課程編成の考え方について 1
- (2) 教育課程編成の考え方について 1
- (3) 教育課程編成の考え方について 1

総則編には教育課程編成のチェック機能があります。

第3章 「教育課程の編成」を見てみましょう。



学習指導要領解説 総則編は、学習指導要領について細かく解説してあるため、教育課程編成のチェック機能があります。本日は第3章教育課程の編成に着目したいと思います。


第3章 教育課程の編成	
節	小(中)学校
1	小(中)学校教育の基本と教育課程の役割
2	教育課程の編成
3	教育課程の実施と学習評価
4	児童(生徒)の発達の支援
5	学校運営上の留意事項
6	道徳教育推進上の配慮事項

小・中学校の第3章には、6つの節(せつ)が設定されています。
 こうしてみると、難しそうな印象があるかもしれませんが、

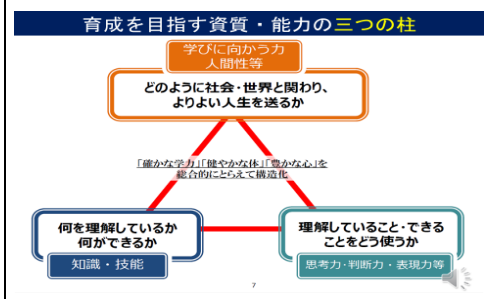
第3章 教育課程の編成		
節	小(中)学校	言い換えると
1	小(中)学校教育の基本と教育課程の役割	何ができるようになるか
2	教育課程の編成	何を学ぶか
3	教育課程の実施と学習評価	どのように学ぶか 何が身に付いたか
4	児童(生徒)の発達の支援	一人一人の発達をどのように支援するか
5	学校運営上の留意事項	実施するために何が 必要か
6	道徳教育推進上の配慮事項	

これらの項目を言い換えると、
 何ができるようになるか、何を学ぶか、どのように学ぶか、何が身に付いたか、一人一人の発達をどのように支援するか、実施するために何が必要か、ということが示されています。
 高等学校についても、章立ては違いますが、同じように、言い換えることができます。

各教科等の学習指導要領解説
 を見てみましょう



ここからは教科等の解説を見てみましょう。



全ての教科等の目標や内容が「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力人間性等」の三つの柱で再整理されました。

第1節 国語科の目標

① 教科の目標
 教科の目標は、次のとおりである。

言葉による 教科等の見方・考え方で正確に理解し、日常生活に必要な国語的知識・技能を身に付け、活用し適切に使うことができるようにする。

知識・技能

言葉による 思考力・判断力・表現力等を身に付け、活用し適切に使うことができるようにする。

思考力・判断力・表現力等

言葉による 学びに向かう力・人間性等を身に付け、活用し適切に使うことができるようにする。

学びに向かう力・人間性等

小学校の国語科で見ていきます。
 ●最初に教科等の見方・考え方が示されており、●知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等という順に示されています。
 他教科も同じように、見方・考え方に続き、三つの柱で示されています。

第2章 国語科の目標及び内容

第1節 国語科の目標

① 教科の目標

教科の目標は、次のとおりである。

言葉による見方・考え方を働かせるとは、児童が学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めることであると考えられる。様々な事象の内容を自然科学や社会科学等の視点から理解することを直接的な学習目的としない国語科においては、言葉を通じた理解や表現及びそこで用いられる言葉そのものを学習対象としている。このため、「言葉による見方・考え方を働かせることが、国語科において育成を目指す資質・能力をよりよく身に付けることにつながる」となる。

見方・考え方とはどのようなことを言うのか、これも解説に示されています。

(例) 【小】社会科

(1) 身近な地域や市区町村（以下第2章第2節において「市」という。）の様子について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

次のような知識及び技能を身に付けること。
 (7) 身近な地域や自分たちをよりよく理解すること。
 (4) 観察・調査したり地域の歴史や文化について調べたりして、白地図などにまとめること。

次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
 (7) 都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所などの役割などについて、身近な地域や市の様子を探し、場所による違いを考え、表現すること。

思考力・判断力・表現力等

学びに向かう力・人間性等

単元等も、三つの柱で示されていますが、学びに向かう力・人間性等については、その教科全体で育てていく力であることから、単元等には具体的に示されていない場合が多いです。

(例) 生活科

(1) 学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々などについて考えることができ、学校での生活は様々な人や施設と関わっていることが分かり、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりしようとする。

教科によっては、

(例) 生活科

(1) 方法、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々などについて考えることができ、学校での生活は様々な人や施設と関わっていることが分かり、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりしようとする。

方法や、三つの柱がひとまとまりに示されているものもあります。

(例) 【小】国語科 思考力・判断力・表現力等

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
読書の態度・読書の取組	身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。	目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。	目的や家庭に気づいて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。
読書の理解の深まり(1)	相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。	相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。	話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。
話し言葉(1)	伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。	話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。

また、国語科や算数・数学科など、全ての学年を一覧にして示しているものもあります。教科等の特徴によって、示し方は違いますが、3つの柱が分かるようになっていきます。

【演習】
学習指導要領解説を読み解いてみましょう



では、演習を行いながら、解説について理解を深めていきたいと思えます。


言葉	取り扱い方	色
～を通して・～を行い ～できるようにする 身に付ける	方法 主な内容	黒 赤
触れるようにする	主な内容を補足するもの ※ 触れる内容が主な内容を補えないようにする	緑
適宜	一つ以上選択すればよい	黄
取り扱う・取り上げる	示されているものを全て扱う	赤
配慮する	指導する際、特に留意すること	青

色や線の種類を決めましょう

指導内容や留意点についてたくさん大切なことが記されていますが、表現が難しいので、分かりやすく言い換えてみました。

「～を通して」「～を行い」というのは、方法です。「～について理解できるようにする」「身に付ける」という表現のものがその単元や題材で取り扱う主な内容になります。「触れるようにする」というのは、主な内容を補足す

	<p>るものなので、その内容が主な内容を超えないようにします。</p> <p>「適宜」とあるものは、一つ以上選択すればよい内容です。</p> <p>「取り扱う」「取り上げる」と書いてあるものは、示されているもの全てを扱います。</p> <p>「配慮する」とあるものは、指導する際、特に留意することです。</p> <p>実際に読む際は、大切な部分にチェックを入れていくと、学習指導要領の内容も理解しやすいのではないかと思います。</p> <p>ここから、演習を行います。ペンを5色ほど用意してください。●表にあるように「方法」で1色、「できるようにする」「取り扱う・取り上げる」は、必ず行うので1色、「触れるようにする」「適宜」「配慮する」でそれぞれ1色ずつ決めてください。今から、解説に示された内容を色分けしていきたいと思います。</p>
<p>【小】家庭科</p> <p>材料に適したゆで方については、硬い食品を柔らかくするなど、食べやすくおいしくするために目的に応じたゆで方があることを理解し、適切にゆでることができるようにする。ゆでる材料として野菜やじゃがいもなどを扱い、水からゆでるものと沸騰してからゆでるものがあることや、ゆでることによってかさが減るものは、多くの量を食べることができるなどの調理の特性を理解できるようにする。また、じゃがいもの芽や緑化した部分には、食中毒を起こす成分が含まれているので取り除く必要があることにも触れるようにする。</p>	<p>最初に、小学校の家庭科で例を示します。</p> <p>先ほどの表をもとに色分けをしてみてください。</p> <p>※動画ストップ。</p> <p>一つ目なので全員で読みながら線を引くのも、個人又はグループで読みながら色分けをするのもよいと思います。取り組み方もですが、時間や共有の方法なども学校で決めていただいてもかまいません。</p>
<p>【小】家庭科</p> <p>材料に適したゆで方については、<u>硬い食品を柔らかくするなど、食べやすくおいしくするために目的に応じたゆで方があることを理解し、適切にゆでることができるようにする。ゆでる材料として野菜やじゃがいもなどを扱い、水からゆでるものと沸騰してからゆでるものがあることや、ゆでることによってかさが減るものは、多くの量を食べることができるなどの調理の特性を理解できるようにする。また、じゃがいもの芽や緑化した部分には、食中毒を起こす成分が含まれているので取り除く必要があることにも触れるようにする。</u></p>	<p>ここでは、目的に応じた茹で方があることを理解し、適切にゆでることができるようにする。ゆでる材料として、野菜やじゃがいもを扱うこと、調理の特性を理解することが主な内容です。そして、主な内容を補足するために、じゃがいもの芽を取り除くことや食中毒について触れることとなります。</p> <p>あと二つ解説を出しますので、読み解き、色分けし、解答を確認するという演習を行いましょ。</p>
<p>【小】体育科（G保健）</p> <p>(1) けがの手当</p> <p>② けがをしたときには、けがの悪化を防ぐ対処として、けがの種類や程度などの状況をできるだけ速やかに把握して処置すること、近くの大人に知らせることが大切であることを理解できるようにする。また、自らできる簡単な手当には、傷口を清潔にする、圧迫して出血を止める、患部を冷やすなどの方法があることを理解できるようにする。</p> <p>④ すり傷、鼻出血、やけどや打撲などを適宜取り上げ、実習を通して、傷口を清潔にする、圧迫して出血を止める、患部を冷やすなどの自らできる簡単な手当ができるようにする。</p>	<p>では、小学校体育科のけがの手当について色分けしてみましょ。</p> <p>※動画ストップ。家庭科と同じ。</p>

<p>【小】 体育科（G保健）</p> <p>(1) けがの手当</p> <p>① けがをしたときには、けがの悪化を防ぐ対処として、けがの種類や程度などの状況をできるだけ速やかに把握して処置すること、近くの大人に知らせることが大切であることを理解できるようにする。また、自らできる簡単な手当には、傷口を清潔にする、圧迫して出血を止める、患部を冷やすなどの方法があることを理解できるようにする。</p> <p>② すり傷、鼻出血、やけどや打撲などを適宜取り上げ、実習を通して、傷口を清潔にする、圧迫して出血を止める、患部を冷やすなどの自らできる簡単な手当ができるようにする。</p>	<p>主な内容は、けがの悪化を防ぐ対処について、けがの種類や程度、状況をできるだけ速やかに把握して処置すること、大人に知らせることが大切であることを理解させること、</p> <p>自らできる簡単な手当には、清潔、圧迫、冷却などの方法があること。</p> <p>また、適宜取り上げるのは、すり傷、鼻出血（びしゅっけつ）、やけどや打撲なので、実習を通して、これらの簡単な手当ができるようにするという事です。</p>
<p>【中】 理科</p> <p>② 状態変化と熱について</p> <p>小学校では、第4学年で、水は温度によって水蒸気や氷に変わることを、水が氷になると体積が増えることについて学習している。</p> <p>ここでは、物質を加熱したり冷却したりすると状態が変化することを観察し、状態が変化する前後の体積や質量を比べる実験を行い、状態変化は物質が異なる物質に変化するのではなくその物質の状態が変化するものであることや、状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いださせ、粒子のモデルと関連付けて理解させることがねらいである。</p> <p>粒子のモデルと関連付けて扱う際には、状態変化によって粒子の運動の様子が変化していることにも触れる。</p> <p>なお、状態変化の様子を観察する際には、体積が変化することによって、容器の破損や破裂などの事故が起こらないように留意する。</p>	<p>次に、中学校理科についてもやってみましょう。</p> <p>※動画ストップ。家庭科と同じ。</p>
<p>【中】 理科</p> <p>② 状態変化と熱について</p> <p>小学校では、第4学年で、水は温度によって水蒸気や氷に変わることを、水が氷になると体積が増えることについて学習している。</p> <p>ここでは、物質を加熱したり冷却したりすると状態が変化することを観察し、状態が変化する前後の体積や質量を比べる実験を行い、状態変化は物質が異なる物質に変化するのではなくその物質の状態が変化するものであることや、状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いださせ、粒子のモデルと関連付けて理解させることがねらいである。</p> <p>粒子のモデルと関連付けて扱う際には、状態変化によって粒子の運動の様子が変化していることにも触れる。</p> <p>なお、状態変化の様子を観察する際には、体積が変化することによって、容器の破損や破裂などの事故が起こらないように留意する。</p>	<p>学習するのは、物質を加熱したり冷却したりすると状態が変化することの観察、前後の体積や質量を比べる実験です。</p> <p>このねらいは、物質の状態が変化することや、体積は変化しても質量は変わらないことを見出させ、粒子モデルと関連付けて理解させることです。</p> <p>粒子モデルと関連付けて学習する際には、状態変化によって粒子の運動の様子が変化していることを補足します。</p> <p>留意事項は、実験や観察中に容器の破損や破裂などの事故が起こらないようにすることです。</p> <p>どうですか？分類できたでしょうか。</p> <p>このように、何をねらって、どのように指導していくのかを色分けして読んでいくと、解説が理解しやすくなります。</p>
<p>校内研修動画【B-1】</p> <p>学習指導要領についての理解</p> <p>研修のねらい</p> <p>学習指導要領や解説の読み解き方を知り、示された内容を理解する。</p>	<p>さて、本日の研修のねらいは、達成できたでしょうか。</p> <p>これからも、積極的に学習指導要領や解説を理解し、よりよい指導につなげていただきたいと願っております。</p>
<p> 愛媛の子どもたちのために</p>	

協議・演習の内容と流れの進行案（案）

分	内容と流れ
14	動画視聴
20	<p>演習</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 小学校 家庭科 2 小学校 体育 3 中学校 理科 <p>三つ例示してありますが、時間に応じて三つともしてもかまいませんし、二つして一つは説明してもかまいません。または、例題の3教科（3班）に分かれて検討し、3班が順に説明をしてから動画を見るのもよいと思います。どのように行うかは学校で決めていただいてもかまいません。</p>
6	<p>忙しい中ですが、指導要領に目を通す機会にさせていただけるよう声掛けをしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 先生方が担当している教科の指導要領 ・ 研究授業など多くの先生方に向けた授業をする前